

水質
日本一

3つの海水浴場



三本杉海水浴場



平浜海水浴場



ふとろ海水浴場

せたな町にある三本杉（瀬棚区）・ふとろ（北檜山区）・平浜（大成区）、3つの海水浴場は、毎年行われている環境省の水質調査で水質最高ランクとなる「AA」という評価を何度も受けています。

そして、2007（平成 19）年には、「AA」の中でも特に優れた水質を誇る海水浴場として発表された全国 19 カ所の海水浴場にせたな町の海水浴場3つが選ばれました。（道内でもこの3つのみ）

清流
日本一

しりべしとしべつがわ

後志利別川



せたな町を流れる「後志利別川」（しりべしとしべつがわ）は道南唯一の一級河川で、1987（昭和 62）年以降、国土交通省が公表している一級河川の水質調査で現在、13 回にわたり“清流日本一”に選ばれ、その清らかさを誇っています。

その清流には、10科23種の魚が確認されており、サクラマスをはじめとした川と海とを行き来する回遊魚が多く生息しています。

北海道の河川では貴重な天然アユも生息しており、遊漁期間には多くの釣り人が見られます。

良好な水質を背景に、流域には多様な自然環境が育まれ、長きにわたって豊かな農畜産物や水産物を生み出す大切な資源となっています。

知ってる!?

せたな町にある

No.1



日本初

洋上風車「風海鳥」

かざみどり



日本海から吹く強い風を恵まれたエネルギーとして活用するため、瀬棚港（瀬棚区）に日本初となる洋上風車を2基建設しました。2004（平成16）年4月に本稼動し、公募で決まった「風海鳥」（かざみどり）という愛称で親しまれています。

日本初

女医「荻野吟子」

おぎのぎんこ

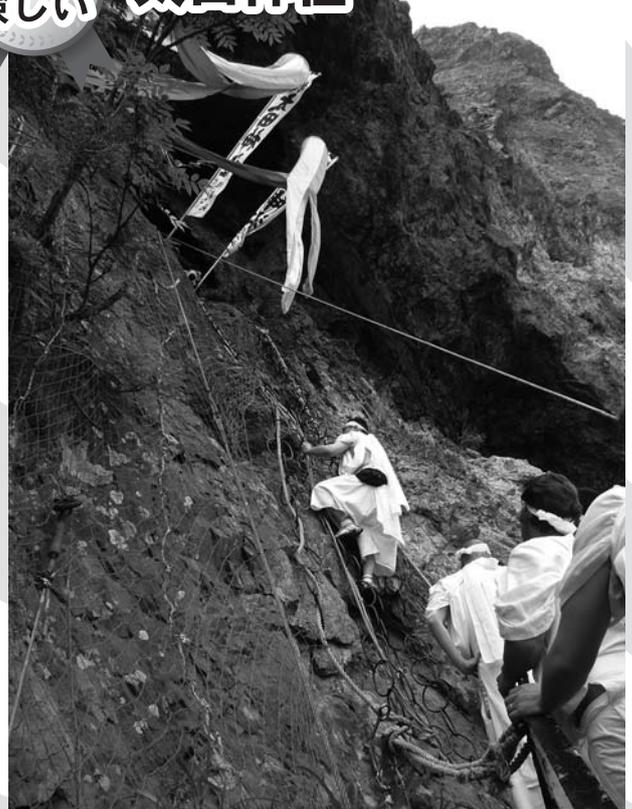


封建社会のなか、数々の苦難を乗り越え日本で最初の女医になった「荻野吟子」は瀬棚村利別原野（現在の今金町神丘）に理想郷の建設を計画して入地した夫の後を追って東京から北海道へ移住。明治30年（1897）には現在の瀬棚区本町地区で産科・小児科荻野医院を開業。以来11年間にわたって地域に大きく貢献しました。瀬棚区ではその功績をたたえ、昭和42年（1967）に顕彰碑を建立。現在は荻野吟子小公園として町民の憩いの場となっています。また、貴重な遺品の数々は瀬棚郷土館に展示されています。

日本一
険しい

おおたじんじゃ

太田神社



太田神社は断崖絶壁にそびえる太田山（標高485m）にある北海道最古の歴史を誇る山岳霊場で、道南五大霊場の1つでもあります。

創立は嘉吉年間（1441～1443）といわれており、享徳3年（1454）に松前藩の祖、武田信広公が太田に上陸した際に太田大権現の尊号を賜ったと言われている。

以来、航海の安全と、霊神の加護として信仰されており、古くは円空上人や木喰上人などの高名僧や松浦武四郎ら探検家も訪れた神社です。

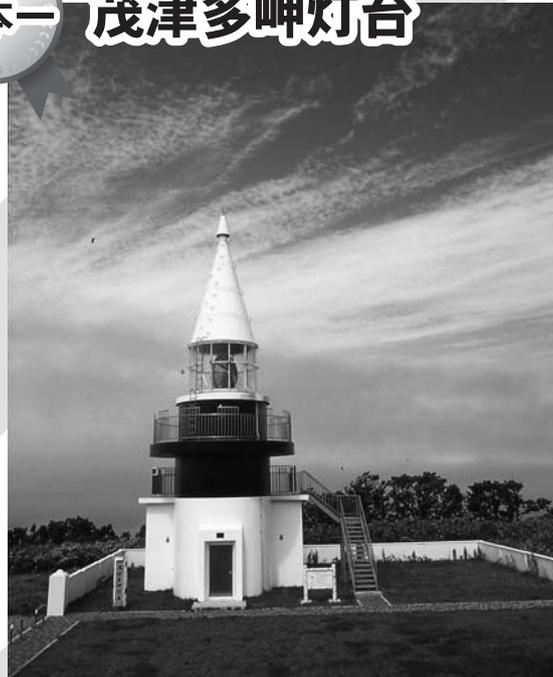
参拝者は、太田山頂上の洞窟内にある本殿を目指すためにまず、かなり角度のある急傾斜の階段139段を登ります。そして、ロープを頼りに狭い道幅の難所を約30分歩き、吊り橋を超えると目的の本殿まであと少し。しかし、そこから本殿へは断崖絶壁にある鉄の鎖をよじ登って行くため、その恐怖にここまで来て断念する人もいます。そのため、日本一険しい参道と言われています。

皆さんは、せたな町にはほかの町には無い、たくさんのNo.1があるのをご存知でしょうか!?
実は、せたな町には日本一・日本初などといったいろいろなNo.1があります。
皆さんはいくつご存知でしょうか?今回は、そんなせたな町のNo.1をご紹介します。

日本一

もったみさきとうだい

茂津多岬灯台



せたな町と島牧村の境に位置する茂津多岬灯台は、標高の高い灯台として知られていましたが、2001（平成 13）年の林道整備に伴って灯台も新しく整備され、灯台の先端が標高 282mから 290mになったため、標高が日本一高い灯台になりました。

ちなみに、灯台までの林道はせたな町管轄、灯台周辺は島牧村の管轄となっていることから共同でPRをしています。

北海道
最西端

おばなみさき 尾花岬



大成区太田地区と北檜山区日中戸地区の間に位置する「尾花岬」は北海道の最西端となります。

「尾花岬」は、2013（平成 25）年に開通した道道 740号北檜山大成線の途中、太田トンネルの外側となるため、徒歩以外での到達は不可能となっています。

写真は大成区太田地区にある定燈籠付近から見た「尾花岬」です。

北海道
発祥の地

馬鈴薯（じゃがいも）



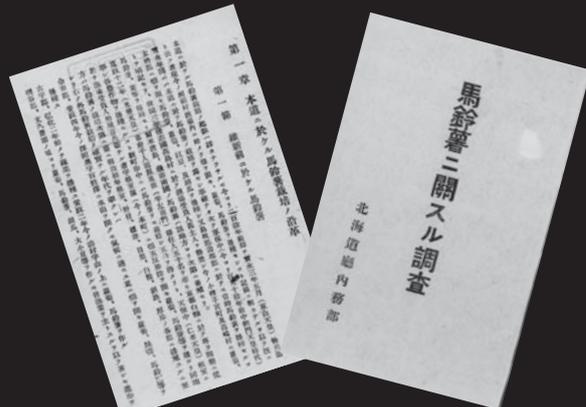
今では、せたな町をはじめ北海道の特産品としても馬鈴薯（じゃがいも）の生産は各地で盛んに行われていますが、1919（大正 8）年 10月に北海道廳（庁）内務部が発行した「馬鈴薯ニ關スル調査」では、1706（宝永 3）年にせたな町（当時の瀬棚村）で馬鈴薯を栽培を開始したのが、北海道における馬鈴薯（じゃがいも）栽培の起源であるという結果が記載されています。

そのため、せたな町は北海道での馬鈴薯（じゃがいも）栽培発祥の地と言われています。

【参考】1919（大正 8）年 10月 北海道廳内務部発行「馬鈴薯ニ關スル調査」より抜粋

第一章 本道ニ於ケル馬鈴薯栽培ノ沿革
第一節 維新前ニ於ケル馬鈴薯

「本道ニ於ケル馬鈴薯栽培ノ起源ハ詳カナラサルモ今ヨリ二百余年前即チ宝永三年五月松兵衛ト云フ者現今ノ瀬棚村漁場内ニ始メテ畑ヲ開キ、蘿蔔、馬鈴薯ヲ播種セシコト記録ニ明カナルヲ以テ既ニ宝永年間ニハ本道ニ於テ馬鈴薯ノ栽培ヲ為セシ事確ナリ…。」



日本一
長い

北檜山グリーンパーク



北檜山グリーンパークは、13.8ヘクタールという道内屈指の広さを誇るパークゴルフ場で、真駒内コース18ホール(1,218m)、狩場コース18ホール(1,264m)の全36ホールとなっています。

なかでも190mパー6もある狩場コース6番ホールは、「日本一長いロングホール」と言われており、ほかにこうした100mを超えるロングホールが3ホールもある広大なパークゴルフ場です。

番外編

日本一!? おバカな観光ポスター



せたな町では、観光シーズンとなる夏を前に毎年、せたな町 PR のためインパクトを重視した日本一おバカ!?と言われる観光ポスターを制作し、札幌市地下鉄の中吊広告や札幌市内を走る路線バスのほか、町内などに掲出し話題を呼んでいる…とか、いないとか…。ちなみに、企画・デザイン・撮影などすべて町職員の手作りで制作されています。

今回、いろいろなせたな町にあるNo.1をご紹介しましたが、皆さんはいくつご存知だったのでしょうか？
もしかしたら、このほかにもまだ違ったNo.1があるかもしれません。
それとも、これから新しく生まれてくるのかもしれません。
皆さんの知ってるNo.1の情報もぜひお待ちしております。

知ってる!?
せたな町にある
No.1